

## 第24回学校評議員会 会議録

平成22年7月14日（水）15:00～16:50

弘前高校応接室

出席者 学校評議員 5名

学校側 校長、教頭（司会）、事務長

教務主任、進路指導主任、生徒指導主任、教務部員（記録）

- 1 学校評議員委嘱
- 2 学校側自己紹介
- 3 校長挨拶

校長	<p>・学校評議員会は、学校の常識・世間の非常識と言われますが、学校の裁量権が広がっていく中で、評議員の方々をはじめとした地域の方々へのアカウンタビリティを果たし、同時に支援していただくことを趣旨として成立しました。是非忌憚のないご意見をいただいて、将来に向けて弘高を正しくより発展できる方向に導いていけるよう、ご協力をお願いいたします。</p>
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 4 校内一巡（ねぶた制作見学）

司会	<p>・意見交換の前に総合的な学習の時間として行っている、ねぶた制作の様子を見ていただきます。（生徒指導部長による案内、ねぶた小屋～化学室・1年生教室・2年生教室、約20分）</p>
----	---------------------------------------------------------------------------------------------

### 5 意見交換

司会	<p>・まず、校長から学校経営方針について説明いたします。</p>
校長	<p>・資料をご覧ください。1番から3番は本校不動です。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・1番は目指す人間像「持って生まれたものを深くさぐって強く引き出す人」。</li><li>・2番は教育目標「『誰人天下賢』を里程標と仰ぎ、品格があり高い志と強い信念を持ち、背骨のしっかりした自己の確立や自己実現をめざす生徒の育成に努め、徳・知・体ともに調和のとれた人間形成を目的とした教育を推進する。よって次のことを柱とする。（1）規律ある自由（2）自学自習（3）体力の増進」。</li><li>・3番は学校経営方針の具体的方針（1）「教職員の協働体制」（2）「開かれた学校」（3）「教職員の資質向上」「明るい職場環境づくり」。</li><li>・4「今年度の重点目標」は新たに付け加えました。</li><li>・「（1）学力の向上・（2）進路指導の充実」は、子どもたちの夢を後押ししたい思いから、授業中心にし学力を伸ばす。そのために、「授業中心主義、成績下位者に対する指導、個人面談を通した生徒理解、一貫性のある進路指導、トップ校としての責任を果たす」等を先生方にも強くお願いし、今年度</li></ul>

	<p>の方向性を確認しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「(3) 生徒指導の充実」は、規律ある自由。弘高生だから自由、は今の時代許されない。学校生活を通じて生きる力を保証する。利他主義は、他の人のために貢献する、裏方を経験する。</li> <li>・「(4) 心身の健康保持と環境の整備」は、悩める子どもたちを救いたい思いからです。</li> <li>・「(5) 地域との連携、感性教育」は、学校がひとりよがりになっては駄目で、地域に信頼され支援される学校を目指したい。そのために地域の声をうかがいたい。</li> <li>・5. 「目指す弘前高校生像」は、本校の生徒はそれぞれ進んだ先でリーダーになってほしい、様々な分野や集団の中でリーダーになってもらいたい。</li> </ul>
司会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次に、各分掌からお願いします。</li> </ul>
教務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート(保護者の学校評価・教職員の自己評価・生徒による授業評価)についてですが、「学習活動充実のための努力」「『ねふた』制作・運行と人間形成」・「部活動と心身の育成」「本校入学の良否」が良い評価としてあげられます。</li> <li>・ただし、「学習と部活動の両立」は、保護者と職員で認識に開きが見られません。また、先ほど校長から職員に対して生徒理解や面談を特に努力してほしいとありましたが、「生徒・保護者の悩み・相談に応じた適切な指導」についても、同様です。</li> <li>・次に、「保護者対象の授業公開と本校教育活動の理解」が非常に低い。新型インフルエンザ罹患による学校閉鎖と学級閉鎖が重なったこともあります。呼びかけだけでなく、4月・5月の早い時期に行うべきかと考えます。</li> <li>・「全教職員の共通理解の下での生活指導」は評価が低い。市民の声として「弘高生だらしない」と言われるが、指導の際に徹底しきれていません。たとえば、スカート丈の長さがどれぐらいが良いのかという認識の個人差とか。</li> <li>・最後に、生徒による「授業アンケート」で「板書の見やすさ、まとめの分かりやすさ」が良くない。特に、国語、地歴、英語に顕著です。ただ、毎年感じることで、内容の濃さ多さを考えると、見やすく書けない理由はありますが、スキルを上げていきたいと思えます。</li> </ul>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻者数ですが、今年は校長をはじめとして生徒指導部、学年主任で登校指導しています。昨年に比べると数的には減少しています。しかし、8時25分までに教室に入っていないといけないので、ぎりぎり駆け込む生徒が決まっています。</li> <li>・本校の特徴として、文化部の加入率が高く、95%が何らかの部活に在籍して活動しています。</li> <li>・運動部は、団体ベスト8、個人ベスト4の成績を出しており、他校に比較す</li> </ul>

進路指導

ると頑張っています。非常に多くの部がベスト8に入賞しています。全国大会出場のボーリング部。高総体県大会フィールド優勝の陸上部。良い選手が入ってきて、よく頑張っています。空手個人、ウェイトリフティングも沖縄インターハイに出場します。ゴルフ男女も国体や全国大会に参加します。

- ・文化部も囲碁部や放送委員会、写真部など、多数全国大会に参加します。文化部の方もよく頑張っています。

- ・進路状況に関しては、就職・公務員・短大志願者はありませんでした。殆どの生徒が4年制大学志望者で、内訳は270名(80.1%)、準大学1名合格ですが進学はしませんでした。浪人は、以前は100名を越えた時代があると聞きましたが、今年は52名(19.2%)でした。
- ・過去10年間の合格率・進学率の推移ですが、平成15年度まで8クラス、平成16年度から7クラスに減じていますが、国公立大合格者数は殆ど変わっていません。(150~170名)
- ・平成22年3月卒業生の合格者数ですが、一番目は弘大で85名。二番目は東北大で38名。三番目は北大で10名。四番目以降は千葉大が8名、岩大が7名、新潟大が5名で、殆ど例年通りです。
- ・東大・京大・東北大・弘大の合格者の現浪別ですが、東大は現役0名、浪人0名。京大は現役3名、浪人0名。東北大の現役35名は過去最高で、浪人3名の38名。弘大は現役74名、浪人11名の85名でした。
- ・次に本校の課題である、医学部医学科合格者数ですが、今年度は23名合格(現役15、浪人8)しました。弘大医学部医学科のAO入試での合格者が増えています。常に20名前後の合格者を出したいと思います。
- ・現3年生の進路希望者ですが、4年制の国公立大希望者数が270名中254名おります。内訳は学部学科別に見ますと、昨年度と比較して、教員養成系希望者が10名増、理工の工が11名減、医の医は変わりなく、薬が7名増で昨年の2倍、保健学科は10名増の24名です。
- ・今年度の進路指導部の基本方針は次の通りです。
  - 1 授業第一
  - 2 生徒の志望を高める
  - 3 生徒の能力を最大限に開花させる

司会

・以上で学校側からの説明は終了です。何か質問はございませんか。

評議員A

・教育目標等は、どういう機会に生徒に教えているのでしょうか。

司会

・昨年、本校の教育目標について、校内で整理しました。この整理された教育目標を、いろいろな機会を通じて話をしてほしい旨を学級担任はじめ全職員にお願いしました。新1年生には「弘高生活のしおり」で配布し、2・3年生には昨年刷り物で渡しました。学校のホームページにも掲載しています。

	<p>卒業した生徒が書いたものの中に「誰人天下賢」を見かけましたが、ああ浸透してきたなと思っています。</p>
<p>評議員 B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも思っていることがあります。患者は医者だけが頼りですが、同じように不登校の生徒も先生だけが頼りです。子どももそうですが、それ以上に、親がひとことで傷つく。逆に、ひとことで凄く勇気づけられる。そのことを先生方に覚えていただきたいと思います。</li> </ul>
<p>評議員 C</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学も同じです。大事なことは、私見ですが、教師がどれだけ学生ひとりひとりを個として認識できるか、名前は分からないけど顔が分かるか、というような事だと考えます。こちらから声をかけ続けると、向こうから声をかけてくる。寄る年波でなかなかできないけれども、ごめんごめんという気持ちは姿勢として大事と思っています。全員は難しいけれども、システムとして必要でしょう。</li> </ul>
<p>評議員 D</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生たちが、全て夏休みも冬休みも講習をすると聞いてびっくりしました。大阪では、先生方は16時に帰ります。受験や講習は予備校へ行きます。また、ねぶた制作や運行も嬉々として行う子どもたちの姿を見るにつけ、先生方のご苦勞を考えると、すてきな学校にお世話になったと感謝しています。</li> </ul>
<p>評議員 E</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「天下の賢」は在校生には難しいと考えます。まだ、自分探しの段階ですから。自分とは何かということにかかわっていると思います。自分を追求するには、絶好の時機です。</li> </ul>
<p>司会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回は、学校評価をメインにしたいと思います。開催は、12月7日（火）か8日（水）16：00を予定しています。3週間くらい前にお伺いしたいと思います。よろしくお願いします。本日は長時間ご苦勞様でした。</li> </ul>